

た ま も

令和6年度 令和7年2月号



こんな避難訓練をしています～災害に備えて～

学校長 高岡 佐知

梅のつぼみが少しずつふくらんできました。阪神淡路大震災から30年がたち、年明けから追悼の番組がたくさん放映されていたのが印象的です。そして、和歌山においても南海トラフ巨大地震が発生されることが予想されており、小さな地震が起こるたびに不安になってしまいます。

本校では、毎年1学期に火災発生に対する避難訓練を行っています。火災発生場所を避けた避難経路を通して運動場に素早く避難します。児童は、煙を吸い込まないようにハンカチで口を押えて約2分で全校が避難することができます。

2学期には、11月5日の「世界津波の日」(※1)に合わせて地震津波の避難訓練を行います。地震発生時には校内放送を通じて緊急地震速報が流れますので、真っ先に、頭を守るために机の下にもぐる等の避難行動をとります。その後揺れが収まったタイミングで建物倒壊による怪我を防止するため運動場の中央に避難します。児童は防災頭巾をかぶって頭を守ります。さらに津波の到達を想定し、本校では校舎3階の教室に避難をします。和歌山市が提供している防災マップによると、本校が立地している場所は「緊急避難先レベル3(浸水想定区域外で安全な避難場所)」とされていますので、想定では浸水はないと思われませんが、想定を超える場合も考えて校舎3階の教室への上階避難訓練を行っています。屋上への避難については次のような懸念事項があるため検討していません。まず、屋上には出入口が一か所しかないこと、全校児童が避難するのに十分な広さではないこと、屋上にはあちこちに段差や配管等の設置物があること、天候や暑さ寒さへの対応ができないことが挙げられます。

そして3学期は和歌山西警察署の方にご協力をいただいて学校への不審者侵入を想定した訓練です。この訓練は主に教職員がどのような対応をしなければならないのかを学び、児童の安全を確保するために行うものです。児童が恐怖心を抱くことがないように、十分配慮しながら実施します。

災害等が起こらないのが一番ではありますが、学校では児童の安全を守るためにこのような訓練を実施しています。しかし、地震はいつ起きるかわかりません。休日や放課後に大きな地震があった場合はどのように行動するか、一度ご家庭でも話し合っただけであればと思います。

※1平成27年12月、国連総会において、毎年11月5日は「世界津波の日」と制定されました。この日が「世界津波の日」とされたのは、安政元年(1854年)11月5日、安政南海地震による津波がいまの和歌山県広川町を襲った際、濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて、多くの命を救った逸話「稲むらの火」の故事にちなんだものです。

吹上郵便局

～特別支援学級～

吹上小学校では、支援学級のことをより身近に感じてほしいとの思いで、毎年吹上郵便局の活動を行っています。支援学級の子も達が、3つのチームで役割分担して各学級にお知らせと説明に行きました。「ありがたい気持ちを伝えよう」というめあて、6つのお約束などの話をした後、手作りはがきを渡しました。また、新たな取り組みとして放送でのお知らせにもチャレンジしました。初めての放送に少し不安と緊張を感じながらも、やってみようという気持ちで取り組むことができました。そうした働きかけに応えるように、たくさんのお友だちが吹上郵便局に来てくれました。自分でデザインした切手を貼ったはがきを、来てくれたお友だちに手渡しているとき、とてもいい表情が見られました。はがきを出しに来たみんなもはがきを送る相手が喜ぶ様子を思いうかべながらうれしそうでした。

この活動を通して、支援学級の子もたちはたくさんのお友だちと交流でき、そして達成感や自己有用感を感じることができました。これからもこうした交流を大切にしていきたいと思ます。

2月の主な行事予定

1	土	土曜チャレンジ「護身術」	2/18・19	ALT 来校
2/1・2		県科学作品展（湯浅スポーツセンター）	19	水
4	火	6年薬物乱用防止教室（5限） 1年図工出前授業	20	木
5	水	1・2年からだの学習出前授業 委員会（4年生見学）	21	金
			23	日
6	木	なかよし遊び	24	月
8	土	土曜チャレンジ「手話」	26	水
10	月	諸費振替・お話の会		
11	火	建国記念の日		
12	水	クラブ	27	木
13	木	なかよし遊び・お話の会	28	金
14	金	新入児保護者説明会（体育館） スクールカウンセラー来校（今年度最終）		
15	土	土曜チャレンジ「生け花・将棋大会（チャレンジ杯）」	3/4	火
17	月	さくら幼稚園交流（1・2年）	3/17	月
			3/24	月